

【From Kobe 8月】

ひまわりの夏 2010 毎年8月 はっと気がつく平和への思い

かんかん照りの夏が近づくと毎年 はっと気がつく「平和」への願い
地球の異変にいやおう無しに気付きたした今日
従来の治水・常識が通用しなくなった地球温暖化による自然の猛威
のんきなことを行っておらずに、治水への投資 真剣に考える時ではないでしょうか
まだ 人工的に気象を制御できないのですから・・・

「想定外だったから」との結論で 平気に答える呑気な世相
「想定外は 解かったけど、今後 どうするねん???'と。

かつて 子供だった私の頭に強烈に残るジェーン台風で水没した尼崎。
その後 街の周囲に張り巡らせた巨大な防潮堤が街を守っている。 その安心度はすごいもの。
よくまあ こんな巨大な物を作り上げたと。
効率や 無駄や オーバーやと切り捨てなかった先人の知恵
そんな守りのない大阪・東京を騒ぎ立てる今の議論を聞くにつけ、
早く気がつけばいいのになあ・・・と。

自然の驚異は 益々大きく牙をむいてくる。
自然がみせる兆候に感度よくもっと早く立ち向かわねば・・・

見聞きする現実のあまりの軽薄さ・冷酷さにもびっくりする毎日ですが、
人それぞれと見逃してばかりはいられないのか・・・
それとも 時代遅れの年寄は 静かにしていた方がいいのだろうか・・・。

「自分ばかりでなく 他人へ 目を向けよう 地球の平和
お互いを思いあう そんな社会の実現へ
ちょっぴりでも 参画したい 」と

何か スカッとしない不安感一杯に さいなまれる夏ですが、
元気に明るく 精一杯生きれば、なんとか先も開けるかもと・・・

そんな思いの暑い夏

「変えられないものを受け入れる 心の静けさと
変えられるものを変える 勇気と
その両者をみわける 英知を 」

今年もまた、呪文のように唱えています。

